



明小だより

平成23年10月 7日
横須賀市立明浜小学校
校長 小田部忠仁
NO. 8

実り多い前期の成果と 後期のめあてを



99日間という前期の学習が無事に終了することができました。職員室で先生方の会話の中に「明浜っ子」の活躍している姿や成果を耳にすることがあります。大変うれしいことで、「チーム明浜」として全教職員が知恵を出し合い、協力して取り組んできた成果だと自負しております。しかし、この教職員の取り組みも、保護者の皆様や地域のご理解とご協力がなければ成り立たないのも事実です。心より感謝申し上げます。昨年の創立50周年を機に、学校と保護者と地域が一つになり、明浜っ子の育成に協働で取り組んでいることは、学校としても自慢の一つになっています。これからも、それぞれの立場を理解しながら、協力し「地域の宝としての子ども」を指導・支援していただけたら有り難いと思います。

さて、我が子の持ち帰ってきた「通信簿」は如何でしょうか？

もちろん、評価ですから「良いところ」と「課題になっているところ」とがあると思います。学校の評価基準は「誰もが到達していくべき内容」になっています。その○と△の差はどうしてできるのか？小学生の学習内容において、「継続した努力」「反復練習」「最後まで取り組む姿勢」が大きく左右すると思います。ちょっとした気のゆるみや怠け心が、小さな差になり、結果として○と△の差になるものです。しかし、○だからといって安心してしまうのも危険です。限りなく△に近い○もあるのです。やはり義務教育なのですから「子どもにとって、勉強することが一番の仕事」という心構えで取り組ませたいものです。その取り組みが、社会人になって「創造性をもちながら不撓不屈の精神で取り組む」という心構えにつながっていくものなのです。

五日間という秋休みがあります。10月13日（木）から後期がスタートします。スムーズなスタートが切れるよう、ご家庭で励ましの言葉がけをお願いします。

※6年生は修学旅行の振り替えで13・14日と代休になります。

（一部の6年生は、陸上記録会10月15日のために登校します）

さて、入学当初は全てがぴかぴかで、不安そうな顔をしていた一年生が、今ではたくましくなり、大きな声であいさつをしたり、友だちと学びあったりと大きく成長してくれました。まだまだできることとできないことがあると思いますが、慌てず、焦らず、確実に取り組んでいってほしいと思います。二年生は、一年生の世話をする中で、自分たちの成長を確認すると共に新たな目当てに向かって全力で取り組んでいます。ウサギの世話をする中で「命を大切に作る心」を体験的に学んでいます。明浜っ子としてのたくましが育ってきています。三年生は、社会科や理科という教科の勉強も始まり、急にお姉さん・お兄さんになったように感じるほど心も体も成長してくれています。友だちとの意見の相違を話し合いで乗り越えることを体験するのもこの年齢

教育目標 ・よく考える子 ・思いやりのある子 ・進んでやる子 ・命を大切に作る子

からです。先日の秋の遠足では「猿島」を横須賀市の環境課のボランティアさんと貴重な体験をしてきました。四年生は、クラブ活動が始まり高学年の準備段階に入りました。学習することも大事なことばかりで、多少手こずっているところもありますが先生方のご指導を受ける中で、一つ一つ着実にクリアーしています。五年生は、キャンプの取り組みの中で「集団生活のルールや協力することの大切さ」を学ぶことができました。この学びが、全ての学習活動に生かされています。学校行事や児童会活動では、六年生の姿を見ながら受け継ぐ準備をしています。頼もしい限りです。最高学年の六年生は、毎日落ち着いた生活の中で、先生方の教えをしっかり受け止め、確実に力をつけています。大変なこと、辛いと感じること、難しいこと等、学習ですからすんなりといかないことも多々あります。しかし、それを乗り越えようと努力するところに「学び」があり「成長」があるのです。そして、中学校の生活につながっていくのです。朝の心地よいあいさつも全校児童のお手本にもなっています。先生から厳しくおしかりを受ける場面でも「しっかり聞いて、真剣なまなざし」でさすが六年生だと思える姿です。11・12日と日光へ「修学旅行」に行きますが、ぜひ友だちと先生とのつながり（絆）を強めながら、いい思い出を作ってほしいと思います。

学校からの願いとお知らせ

地域を知ることから

保護者の皆様が住んでいる「横須賀市久里浜・佐原地区」は、古くから独自の歴史や文化が生まれ育っています。この地で子育てをしているわけですが、どのくらいご存知でしょうか？誰もが知っているのは「黒船のペリーが上陸をしたところ」ではないでしょうか。しかし、それ以外にも多くの歴史や文化があります。それらの歴史や文化を子どもたちにわかりやすく伝えようと、市民グループ「久里浜の文化を考える会」（石田妙子委員長）のみなさんが、「くりはま歴史絵本」を発行しています。（4年生の児童に無償配布）今年度は「第6集 平作川物語」を発行する予定で、4年生の子どもたちの作文や絵を募集して編集作業をされています。また、久里浜地区の商店街の皆様も、住みよい町づくりのために様々な取り組みをされています。素敵な町「久里浜」を、ぜひ秋の過ごしやすい時期に、探索されたり、行政センターやペリー上陸記念館などを訪ねてみたりすることをお勧めします。子どもが幼いときに過ごした風景が、大人になって子育てをするときの「原風景」になるものです。心に残る、記憶に残る働きかけをしたいものです。

秋の運動会 10月22日（土）

学校において大きな行事の一つでもあります「秋の運動会」が予定されています。どの学年の子どもたちも、普段の学習とともに運動会の練習に汗を流しております。

一昔前は、運動会といえば地域の一大イベントでもあり、町内会ごとにリレーがあったり、大人の種目もあったりして、それは賑やかなものでした。現在は、町内会ごとに「健民運動会」が開催されていますが、小学校の運動会・中学校の体育祭は、保護者としては楽しみのひとつだと思います。ぜひ、ご家族そろって応援にご来校いただければ幸いです。

ご来校いただく際に、ひとつお願いがあります。それは、学校周辺の皆様に騒音以外のご迷惑をおかけしないということです。違法な駐停車やたばこやゴミの投げ捨てなど、子どもの前で見せられない大人の姿です。また、昼食時の飲酒も学習の場としての校庭では望ましくありません。ご遠慮いただきたいと思います。最後に、日傘が必要なお天気の時には、傘の骨や先が目につかって思わぬ事故になる事例が報告されています。十分ご注意ください。

※おいしいお弁当もよろしくお祈りします。